

政府間水文学計画（IHP）第9期戦略計画の概要

IHP 第8期戦略計画（2014-2021）においては、水セキュリティにおいて学際的で革新的かつ環境に優しいツールとアプローチにより重要な進歩があった。IHP 第9期戦略計画（2022-2029）においては、持続可能な開発目標6（SDG6）や、パリ協定、仙台防災枠組み、新都市アジェンダといった水関係のグローバル・アジェンダに集中してSDGsの達成に貢献するため、継続的に取り組むことが強調されている。

ビジョン

持続可能な発展を達成して、強靱な社会を構築するために、人々と機関が十分な能力を備え、水管理と自治についての決定を知らせるための科学的に基づいた知識がある水の安全な世界を描く。

ミッション

水科学と教育を通して水関連のSDGsと他の関連したフレームワークの実現を加速させるために加盟国を支えること。

戦略的目標

1. 根拠に基づく水管理とガバナンスの改善
2. 地球変動下の社会の回復力を高めること

包括的成果

持続可能で強靱な社会に向けた、改善された科学的データ・研究・知識・資質・科学・政策・社会のインターフェースに基づき、実践や根拠に基づいた水管理とガバナンスの実現

指標

1. 改善された水科学及び研究の活用や、知識の拡大のために強化されたキャパシティの適用、全てのレベルにおける関連リスクに対するより良いマネジメント
2. フォーマル・ノンフォーマル・インフォーマル教育の強化
3. 水資源の持続可能な管理のための、科学的で質が保証されたデータ及び知識の活用と発展
4. 地球規模の課題に対する統合された水資源の管理への合意
5. 緩和・適応・回復力のための水ガバナンスの強化に向けた科学的実践に基づくメカニズムや政策

優先分野

1. 科学的研究とイノベーション
2. 持続可能性を含む第四次産業革命における水教育
3. データと知識のギャップの橋渡し
4. 地球変動の状況下における統合的水資源管理
5. 緩和、適応、回復力のための科学に基づいた水ガバナンス

※各優先分野のもとに、全34のアウトプットと、150のキーアクティビティが設定されている。

